

M I S U M I A r t C o l l e c t i o n

『Horse Blinders (West)』 1972年 ジェームズ・ローゼンクイスト

ローゼンクイストは1957年から1960年までは看板絵描きとして生計を立てていましたが、後にアンディ・ウォーホルや、ロイ・リキテンスタインのようなポップアートを代表するアーティストの一人となりました。

『Horse Blinders』シリーズはWest、North、East、Southの4枚セットから成り、明るく強い色彩と斬新なデザインが看板同様に鑑賞者の目を引きま

す。大量生産された商品や言語文化を断片的に、不合理に、かつ不思議に組み合わせることで、シュルレアリスト（超現実主義）の作品のような前衛的な表現を生み出しています。

株式会社 ミスミグループ本社

〒102-8583 東京都千代田区九段南1丁目6番5号 九段会館テラス
TEL:03-6777-7501 FAX:03-5211-7502
URL: <https://www.misumi.co.jp/>



MISUMI | Your Time, Our Priority

ミスミグループ通信 vol.60

2023年4月1日～2023年9月30日



© 2023 James Rosenquist Foundation / ARS, NY / JASPAR, Tokyo E5407

MISUMI Art Collection

ジェームズ・ローゼンクイスト 『Horse Blinders (West)』

解説は裏表紙をご覧ください。

株式会社 ミスミグループ本社

証券コード: 9962

地域毎事業モデルの確立を急ぎ、 成長需要の確実な獲得を狙う



当第2四半期累計期間における世界経済は、昨年度コロナ禍の影響を強く受けた中国市場の景気回復遅れが顕著であったこと、および欧米の景気後退懸念により製

造業を中心とする設備投資需要が伸び悩みました。加えて、エネルギーや原材料などコストの高騰や為替変動による影響も続いており、自動車や半導体関連など主要顧

客産業における生産が正常化されつつも、設備投資意欲に本格的な持ち直しが見られませんでした。

こうした環境において、当社はメーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしながら、これを支える事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の確実短納期ニーズに応えることで世界の製造業を中心とした自動化関連産業に貢献しています。これまで当社が築いてきたIT、生産、物流の強固な事業基盤やグローバル拠点網を活用して顧客の需要を的確に捉えることに尽力し、持続的な成長に向けて実行した新商品・新サービス開発を含む新事業政策も概ね計画通りに推移しました。一方で、設備投資の需要低迷により、日本は前年微減、海外地域は前年比減収となりました。

この結果、需要減速の影響を受け、為替効果はありましたが、連結売上高は180,094百万円(前年同期比4.3%減)となりました。セグメント別では、FA事業は、日本において前年同水準の売上を維持できたものの、中国を中心とした海外地域では設備投資需要が全般的に低調に

推移し、売上高は57,895百万円(前年同期比5.7%減)となりました。金型部品事業は、自動車関連顧客の生産稼働が正常化されつつありますが、設備投資意欲は本格的に回復せず、アジアや欧州など一部地域では増収となったものの、その他地域は低調に推移し、売上高は39,329百万円(前年同期比1.4%減)となりました。VONA事業は、売上構成の大きい日本では前年同水準を維持したものの、中国やアジアにおける需要減速影響が著しく、売上高は82,868百万円(前年同期比4.6%減)となりました。

利益面につきましては、売上数量減、稼働低下および一時的在庫評価損の影響に加え、事業モデル革新に向けた新基幹システム導入に関わる費用増加等により、営業利益は18,515百万円(前年同期比31.2%減)、経常利益は20,007百万円(前年同期比27.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は14,185百万円(前年同期比29.9%減)となりました。

エコノミー品、meviyの双方向戦略で地域毎の高成長を目指す

今後の事業環境は、中長期的に社会課題の解決に向けた自動化需要がグローバルに継続して拡大する見込みですが、足元では地政学リスクによるサプライチェーンの地域ブロック化も一層進行することが予想されます。このよ

うな環境下、当社は地域毎に最適なビジネスモデルの確立を加速し、成長需要の確実な獲得を狙います。

今期の事業環境において、不透明性は依然として高いものの、通期の連結業績予想については、独自施策や為

Top Message トップメッセージ

替効果などを勘案し、2023年7月28日の公表値からは変更ありません。

当社の主な取り組みとして、価格競争力の高い「エコノミー品」については、顧客ニーズの拡大を実感する中、中

国・アジアに続き日本でも早期の市場占有を目指して販売を開始します。

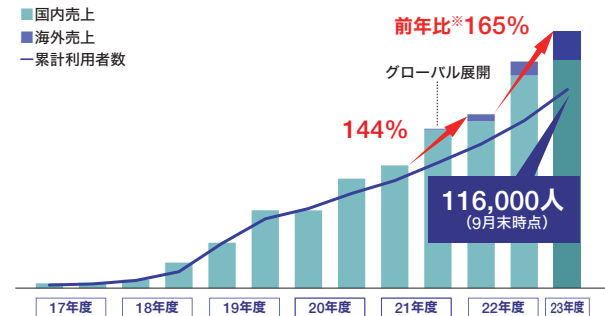
商品の設計CADデータをアップロードするだけで即時見積もり・最短1日出荷を実現するサービス「meivy」に

ついては、地域毎の顧客ニーズに適応する商品やサービスを継続的に拡充することにより、グローバルで売上成長が加速しています。3D CADデータに加え、機械部品調達の約4割を占める2D図面への対応も開始し、さらなる浸透を図ります。

また事業基盤の強化については、今後の成長加速に向けた新基幹システムの刷新を行っており、今期中に日本への導入を完了させる見込みです。

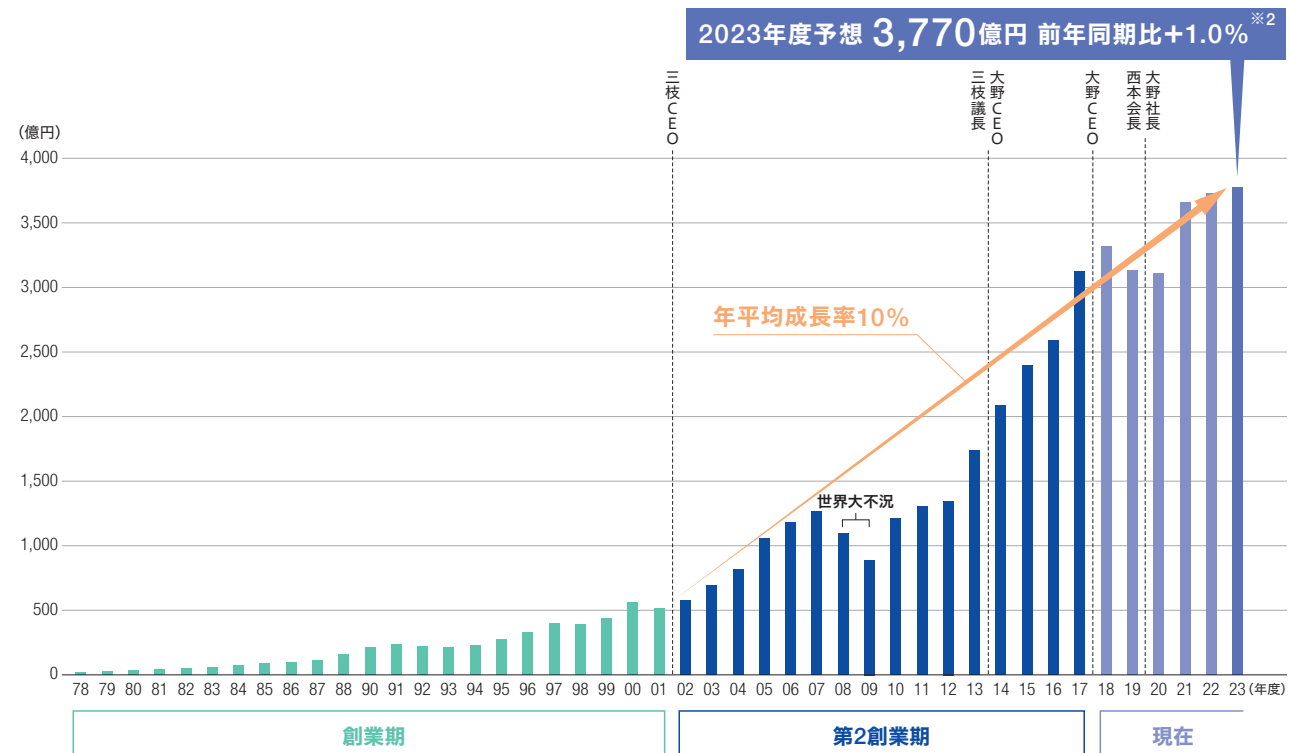
meivyグローバル売上規模・累計利用者数推移

(売上規模：2017年度 上期=100指数)



※金型部品は20年度、ラビッドプロトタイプングは23年4月でサービス終了

ミスミグループの業績推移(連結) ※1



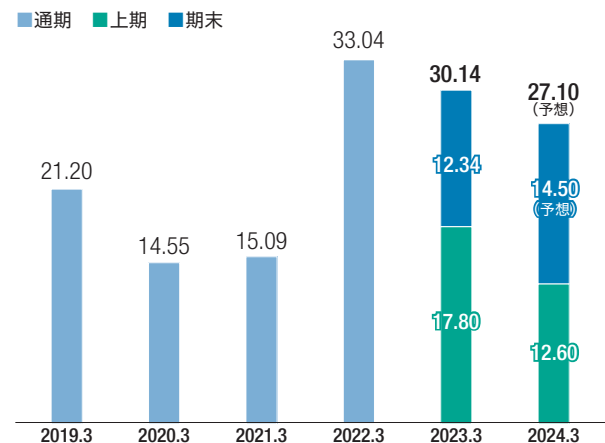
※1 1989年度は決算期を変更した都合上省略してあります。

※2 2023年7月28日に連結業績予想を修正

年間配当金は修正なし

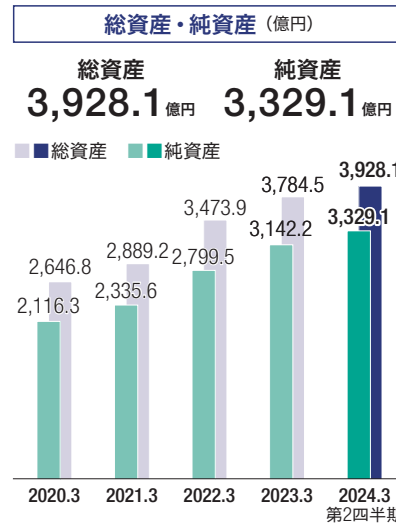
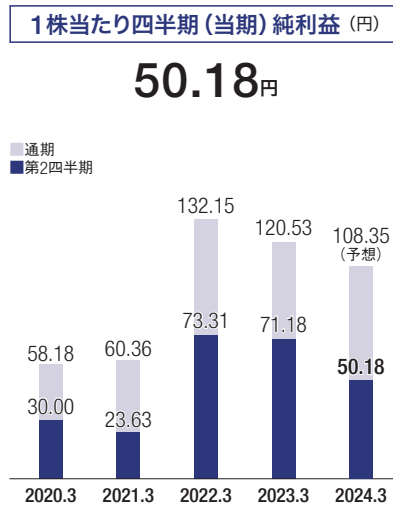
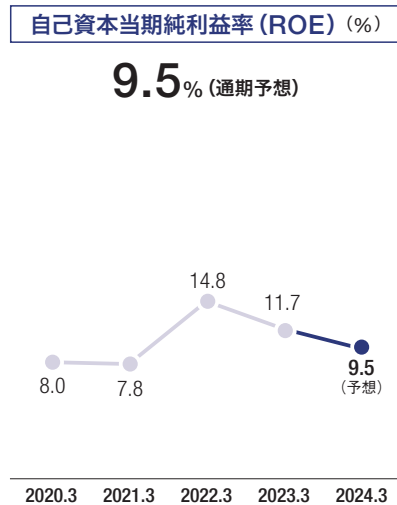
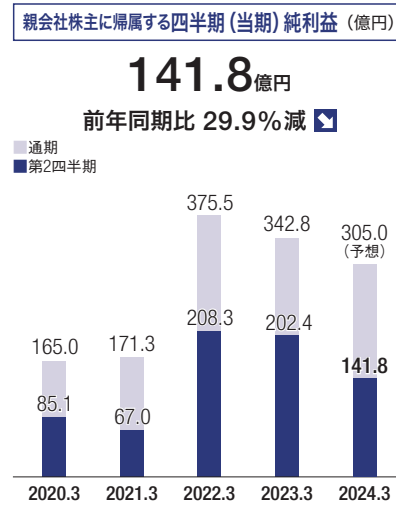
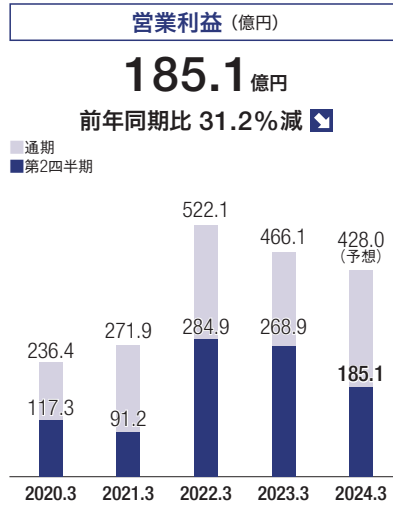
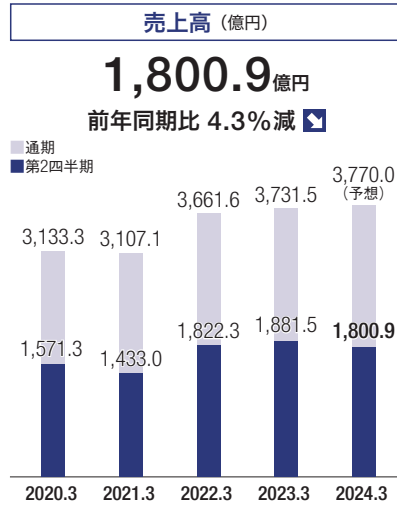
当社は、中長期的な視点での成長投資と株主の皆さまへの還元は、バランスを取りながら実施しており、配当に関しましては、経営基盤拡充、財務体質の強化、資本効率の向上なども勘案し、配当性向25%を基準に決定しております。これにより、当第2四半期末の1株当たり配当金は12円60銭(前年比5円20銭減)とさせていただきます。期末配当予想につきましては、通期連結業績予想を据え置いたため、1株当たり期末配当金を14円50銭(前年比2円16銭増)に修正いたしました。年間配当金については、1株当たり27円10銭(前年比3円04銭減)と予想しております。

1株当たり配当金(円)



Financial Highlights

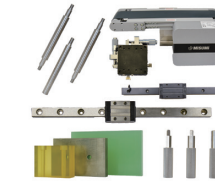
連結財務ハイライト



詳細な財務情報は当社ホームページ「株主・投資家情報」へ <https://www.misumi.co.jp/ir/>

セグメント概況

FA事業



製造装置、生産自動機などに利用する精密機械部品の開発・生産・販売をしています。

金型部品事業

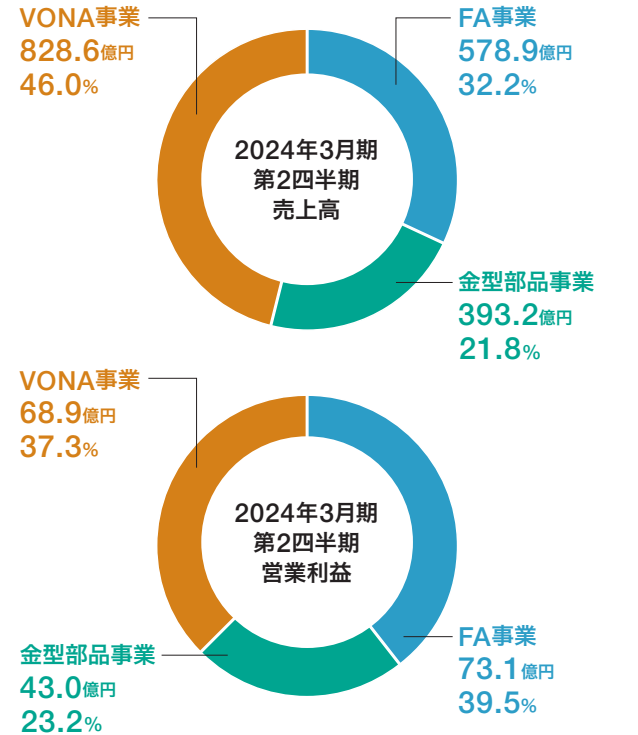
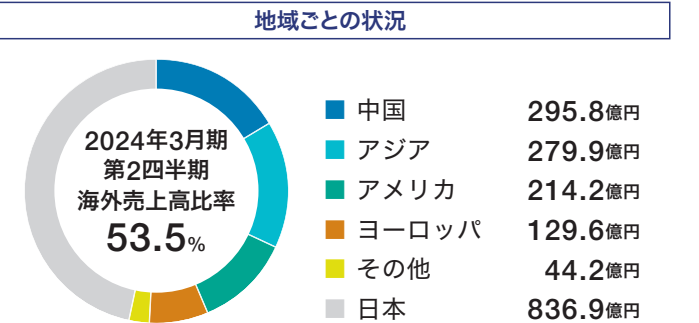
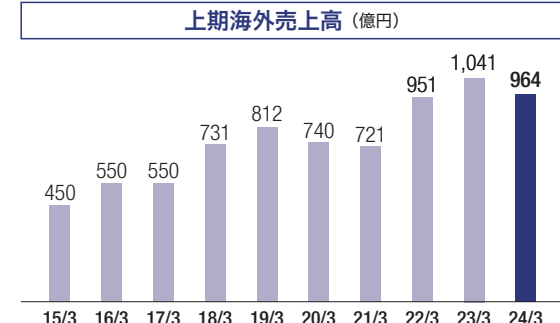


プレス部品、樹脂成型部品を量産する金型に組み込む標準部品や精密部品の開発・生産・販売をしています。

VONA事業



他社商品も含めた自動化関連間接材から消耗品まで幅広い商品群を販売する流通事業。ミスミブランドの他、グローバル3,000社以上のメーカーが参画しています。



拡大するインド市場で确实短納期を強化

インドでは、人口増加に伴い産業規模の拡大や旺盛な域内需要が国内市場のさらなる成長をけん引すると予想されています。当社でも、インド現地法人の売上や顧客数が共に著しく成長しています。

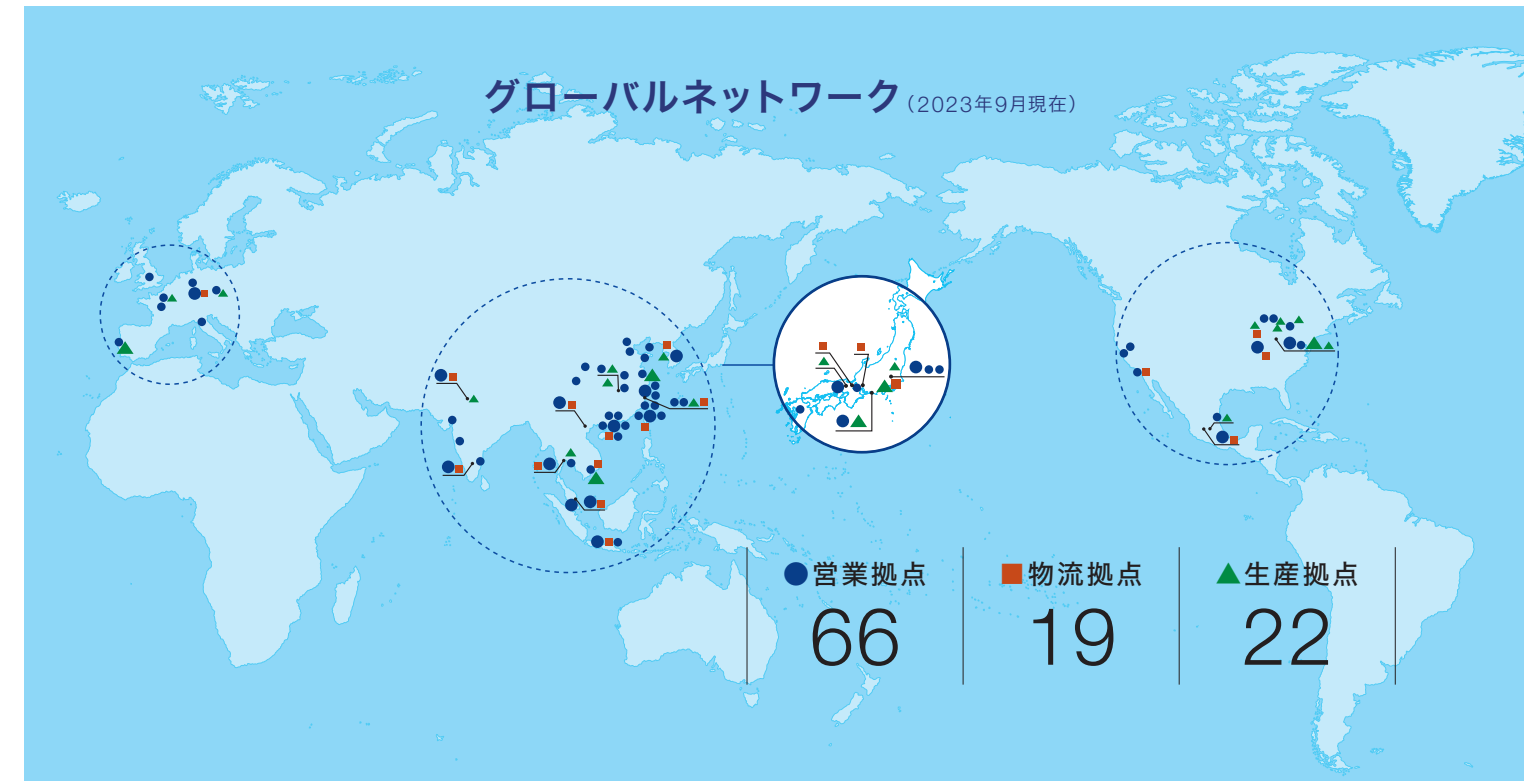
一方で、広大な国土に対して交通網が未整備という状況の中で、いかに「确实短納期」を強化するかは一つ大きな課題です。

これまで当社は、既存拠点のある北部を中心に确实短納期を強化してきました。今後、インド南部の地域に多くの企業が進出を控えており、さらに高い成長が見込まれているため、多様な顧客ニーズに対応し安定供給を実現すべく、南部バンガロールのボマサンドラ地区に物流拠点を新設し、2023年5月より稼働を開始しました。



最大5万点の在庫を保有することが可能な上、最短当日配送を実現することで顧客調達リードタイムの削減に大きく貢献することができます。

今後もミスミが顧客に選ばれ続ける存在であるために、「顧客時間価値」の最大化を常に意識し、これまで以上に「确实短納期」を磨き込んでまいります。



Corporate Data

会社情報

会社概要 (2023年9月30日現在)

商号	株式会社ミスミグループ本社 (英文名: MISUMI Group Inc.)
設立	1963年2月23日
本社	東京都千代田区九段南1丁目6番5号九段会館テラス
資本金	140億3百万円
事業内容	グループの経営戦略立案や管理ならびにそれらに付随するグループ経営に必要な機能を有する
従業員数	11,804名 (2023年3月31日現在のミスミグループ連結)
URL	https://www.misumi.co.jp/



ミスミグループトップマネジメント (2023年10月1日現在)

取締役				名誉会長		
	代表取締役会長	西本 甲介	代表取締役社長	大野 龍隆	三枝 匡	
	常務取締役	金谷 知樹	常務取締役	清水 重貴	取締役	徐 少淳
	取締役(社外)	中野 庸一	取締役(社外)	清水 新	取締役(社外)	栖関 智晴

経営執行役 統括G役員

代表取締役会長	西本 甲介	代表取締役社長	大野 龍隆		
常務取締役 中亞事業統括 アジア企業体社長	金谷 知樹	常務取締役 日本企業体社長	清水 重貴	取締役 中国企業体副社長 ミスミ(中国)精密機械貿易有限公司 董事長兼総経理	徐 少淳
常務執行役員 欧米事業統括	男澤 一郎	CIO・常務執行役員 デジタルトランスフォーメーション システムプラットフォーム 代表執行役員 SCMオペレーションプラットフォーム 代表執行役員	佐藤 年成	常務執行役員 ID ^{※1} 企業体社長	吉田 光伸
常務執行役員 人材・法務プラットフォーム 代表執行役員	佐々木 貴子	CFO・常務執行役員 ファイナンスプラットフォーム 代表執行役員 SXプラットフォーム 代表執行役員	高波 徹	常務執行役員 中国企業体社長	荒川 亨

経営執行役

日本企業体副社長	荘司 秀佳	日本企業体副社長	小林 延好	米州企業体社長	大洞 龍児
生産プラットフォーム 代表執行役員	遠矢 工	Factory-MRO企業体社長	馬場 隆	OST企業体社長	渡邊 宣公
日本企業体執行役員常務 IM ^{※2} 事業統括 IE ^{※3} 事業統括	川上 浩一	DJシステム推進本部長	木戸 雄介	Gateway推進本部長	鷲見 昌丈
欧州企業体社長	村田 規明				

監査役

監査役	和田 高明	監査役(社外)	野末 寿一	名誉会長・第2期創業者	三枝 匡
監査役(社外)	青野 奈々子			特別顧問・創業者	田口 弘

Shareholders Memo

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	6月	
基準日	定時株主総会・期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社	
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料、平日9:00 -17:00)	
同送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場	
公告の方法	電子公告 ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。	
公告掲載URL	https://www.misumi.co.jp/ir/	

書面交付請求について ~インターネットのご利用が困難な株主さまへ~

従来通り株主総会資料を書面で受領ご希望の株主さまは、お手続きが必要となります。

- ・交付書面請求の受付期限は、株主総会の基準日(当期は2024年3月31日)までにお申し出が必要です。
- ・お手続き方法については、証券会社または株主名簿管理人にお申し出いただく必要があります。

注意事項

業績予想に関する留意事項

この資料に掲載されている通期の見通しおよび将来に関する記述部分につきましては、現時点で入手可能な情報をもとに、ミスミグループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、実際の業績は、様々な要素により、これら事業予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

住所変更、買取請求その他各種お手続きについて

原則、株主さまの口座のある証券会社にお問い合わせください。なお、特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。